

12月終業式

聖書 ルカによる福音書 10章 25-28節（新約聖書 126頁）

すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

体感

この律法の専門家とイエスの対話を読む度に思うことですが、最初は専門家がイエスを試そうと問いかけます。しかしすぐにイエスが問い返し、立場は逆転します。そして最後はイエスが「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」と、結局イエスが律法の専門家を試す結果に終わります。

もう一度言います。最初に試そうと質問したのは律法の専門家です。しかしイエスはそれには答えず、逆に「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と問い返しました。これはとても大切なことで、私たちはイエスに答えを求めますが、実はイエスが私たちに問いかけ、自ら気づくように促しているのです。

学ぶことも同じです。先生もすぐに教えず、皆さんもすぐに答えを求めず、まず自分で格闘してみましよう。宿題や課題もただ写すだけの作業でやったやらないで終わるのはやめましよう。教科書や問題集の答えをすぐに見るのはやめましよう。それならお互いに教え合う方がいいです。学びは運動と同じで自らの体感です。

せっかく英和にいるのに、自ら学びに取り組まないのはもったいない。評点を取り大学に合格するのは始まりに過ぎません。学びは生涯続きます。教えられるだけは学びではありません。学びを自分のものにしましょう。神様を愛する、互いに愛し合うのもイエスが言った、聖書にあるではなく、自分で体感することが大切です。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ。後期十二月までの学びを守り導いてくださったことを感謝いたします。どうか心身共にゆっくりと休息の時間を過ごし、喜びと感謝をもって新しい年を迎え、心新たに自らの学びを始めることができますように導いてください。主イエス・キリストの御名によってお願いいたします。アーメン